

3年1組「明るくなった友だち」 内容項目 - 友情, 信頼

【あらすじ】

主人公の千緒のクラスの女の子は、友達がいないう理由で学校を休んでいる。最初はためらっていた千緒だが、母親に励まされてその子を迎えに行く。そして、みんなもその子を守ってあげたかったのだから、行動に移せなかっただけだったことに気付く。

【授業から】

「自分が千緒の立場だったら、迎えに行くことを迷いますか？」という問いから学習が始まりました。「迷う…その子のことをよく知らないから。」「迷わない…早く学校にきてほしいから。」子どもたちの意見は2つに分かれました。自分の視点をもって考えたことで、子どもたちはより身近な問題としてとらえ、意見を交流することができました。次に、友達のために頑張る千緒の気持ちを想像しました。勇気を出して行動したことにより、周囲の仲間的心をも動かし、休みがちだった友達が明るくなったことなど、千緒の気持ちに共感することができました。最後に、友達の大切さについて考え、今後の生活に生かしていこうという気持ちを高めることができました。

自分が千緒の立場だったら…



【学習感想】

- ・千緒みたいに困っている友達には、勇気を出して声をかけていきたいです。同じクラスの友達だから…。
- ・学級目標の「助け合い」の心を大切にしていきたいです。
- ・初めは友達ができるか心配だったけど、「一緒に遊ぼう。」と声をかけてくれた人がいたのでホッとしました。
- ・友達とけんかをすることもあるけれど、お互いにあやまって乗り越える力をつけていきたいです。
- ・まだあまり話をしたことのない人にも自分から声をかけて話をしていきたいです。

3年2組「鬼太郎をかいたゲゲさん」 内容項目 - 個性の伸長

【あらすじ】

不思議な話や絵を描くことが大好きだった水木しげるさんは、絵の勉強を始めたが、戦争で片腕を失ってしまう。それでも、好きなことを生かして漫画家になり、売れない時代を乗り越えながら90歳を過ぎてもなお作品づくり情熱を燃やした。

【授業から】

逆境に負けない水木さんの生き方に触れることを通して、自分たちのこれからについて考えました。授業の中心では、水木さんが苦しい生活の中でも成功できた「秘密」は何か一緒に考えました。「あきらめずに続ける」「決めたことはやり通す」「自分を信じる」などの意見が出されました。その際、苦しい生活の中で絵以外の選択肢を考えることはなかったのか問いかけると、子どもたちは悩みながらも水木しげるさんの絵に対する強い思いに気付くことができました。終末には、水木さんの生き方から学んだことを自分の生活にどう生かしていきたいか、考えて記述しました。

【学習感想】

- ・水木さんみたいにあきらめずに、自分の習い事をがんばっていきたいです。
- ・水木さんが左手を失っても絵を描き続けたことに驚きました。
- ・自信を持って自分の好きなことを続けてみたいと思いました。
- ・絵をかくことをがんばっているので、あきらめずに毎日練習したいです。



自分の考えをグループで伝え合いました